

安平町から4名が北海道選手団として出場

9月末から10月9日まで開催される第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」に安平町から乗馬、カヌー、ゴルフ競技に4名が北海道選手団として派遣されています。

9月21日安平の森カヌークラブに所属する5名が役場を訪れ、それぞれが「自己ベストの更新と準決勝、決勝進出を目指して頑張る」と誓い、森下副町長と豊島教育長も選手たちの活躍を期待し、熱いエールを贈りました。



いろいろなお仕事があるんだね

はやきた子ども園ほっぶ組の園児たちが、「自分たちの住んでいる町をよく知ろう」と早来市街地の商店や郵便局などを巡るスタンプラリーを実施。

9月24日には、役場早来庁舎を訪れ、瀧町長と記念写真を撮影したり、庁舎内を見学するなど、5日間の日程で12箇所のスタンプを集め、園に戻ると写真つき地域マップの作成に取組みました。



職場体験学習



町内在住の苫小牧総合経済高等学校2年生の阿部憲人さんと小野菜美さんが9月12日から14日の3日間、役場の仕事を体験しました。「近くにある職場はどんなものだろう」と役場を選んだ2人は、業務の説明を聞いた1日目、子育て支援や図書室業務を体験した2日目、そして3日目は、取材をして自ら原稿を書き上げる広報作成体験と内容の詰まった仕事を体験しました。パソコンの操作は手馴れた2人でしたが、最後まで苦戦をしながら完成した取材の成果は次のとおりです。

より安全で平和な町づくり

9月14日追分庁舎で、安平町長より瑞穂自治会の立花博さんに地域防犯活動団体としての委嘱状が交付されました。この委嘱状の交付によって車両に青色回転灯が付けられるようになり、地域をパトロールすることが出来るようになります。

町内のボランティア団体や自治会で、町から委嘱を受けて青色防犯パトロールを実施している団体は、瑞穂自治会で10団体目となりました。青色防犯パトロールを実施する団体が増えることにより、より安全で平和な町づくりがすすむと良いです。

(文・阿部憲人)

みんなの町はみんなで守る

9月14日青色防犯パトロールに委嘱された瑞穂自治会の立花博さんへ安平町長より委嘱状交付が追分庁舎で行われました。

行っている方は無償の活動で、通学路などの色々な場所を青色回転灯をつけてパトロールを行っています。

安平町内の団体が始めたのは平成18年からで安平町の合併後は、北町自治会が初めてです。

青色防犯パトロールがいてくれば、地域が安全で安心していられると感じました。

(文・小野菜美)



初めての一眼レフカメラで撮影した写真。立花さんにもアドバイスや協力をいただき撮影しました。(撮影・阿部憲人)